

特徴：中古肥育牛舎を活用した繁殖経営への新規参入

畜種等	肉用牛
県・市町村名	熊本県水俣市
取組実施者名	辻 茂秀
経営形態	肉用牛繁殖経営
飼養頭羽数	繁殖母牛 4 1 頭
取組開始年	平成 1 8 年



中古牛舎全景



中古牛舎内

経営の概要

平成 1 2 年 県立農業大学校を卒業後、畜産農家で研修

平成 1 5 年 農事センターに就職

平成 1 8 年 農業委員会を通じて離農した肥育牛舎及び牧草地を購入
繁殖経営を開始

繁殖牛・飼料の購入・施設整備（就農支援資金）

繁殖牛の導入（肉用牛繁殖基盤強化総合対策事業）

平成 2 0 年 子牛の市場出荷を開始

生産性向上の取組の概要

- ・ 非農家出身であったが県立農業大学校及び畜産農家、農事センターでの研修を経て就農した。離農した肥育農家の中古牛舎や中古農機具を購入し、繁殖牛の導入等は制度資金や補助事業を活用することにより初期投資を抑え円滑な就農ができた。
- ・ 繁殖牛は初期段階では妊娠牛を導入することにより早期の子牛出荷が可能となった。



子牛用ハッチで個体管理



地元の飼料イネを利用を確保

取組の実績・効果

【取組実績】

- ・ 離農した肥育農家の中古牛舎や中古農機具を活用することにより、施設整備の初期投資を低減した。
- ・ 初期段階では妊娠牛を導入することにより営農開始後 約1年での子牛出荷が可能となった
- ・ 地域の耕種農家やJAと連携し、飼料イネを確保するとともに、とうふ粕や野菜クズ・デンプン粕・ミカンジュース粕などを利用し飼料費を低減している。
- ・ 人工授精師の資格を活かし、適期に受精を実施。また早期親子分離により、ほぼ1年1産を達成している。
- ・ 子牛は子牛用ハッチでの個体管理を行い、敷料交換時は消毒を徹底し、子牛の事故率ゼロを達成している。

取組実施者からのコメント

肥育農家の牛舎を活用することで、初期投資の低減が図れました。しかし、飼料畑の面積が少ないことから粗飼料の確保が課題となっています。今後も地域の飼料イネや野菜クズなどをうまく活用していきたい。



辻 茂秀 氏

事例提供（執筆者）： 熊本県芦北地域振興局農業普及指導課 中村 寿男

お問合せ： 熊本県芦北地域振興局農業普及指導課 TEL 0966-82-5194